

教育研究評議会議事録（第103回）

日 時：平成24年11月15日（木）15時00分～16時22分

場 所：事務局第一会議室

出席者：藤井，岩渕，高畑，小川，馬場，菅原，西崎，井上，長澤（由），西谷，長澤（孝），
上村，高橋，丸山，吉村，内山，遠藤，新妻，塚，船崎，八代，古賀，岡田

欠席者：山本

配付資料

1. 全学的な意思決定プロセス等の再構築について
2. 役員会報告（第379回から第380回）
3. 学長・副学長会議報告（第252から第254回）
4. 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果
5. 発達障がい学生への修学支援に関する学習会チラシ

議 題

1. 全学的な意思決定プロセス等の再構築について

学長から、全学的な意思決定プロセス等の再構築について意見交換する旨が述べられ、次いで総務広報課長から、配付資料1に基づき第2期中期計画として「学長によるトップマネジメントをいっそう推進するため、全学的な意思決定プロセスを再構築する」とされていること、及び全学各種委員会等の設置目的及び審議事項について説明があった。

委員からは、意思決定プロセスの曖昧さの要因として、大学としての企画戦略検討が弱体であること、現在の各種全学委員会の設置目的・審議事項は良くできた内容であるがその運用が適切に機能していないこと等の意見が出された。

学長から、改めて大学運営組織のあるべき原点に立ち返り検討することの必要性が述べられ、今後は組織検討委員会において、平成25年度の実施に向けて検討を進めることが述べられた。

2. その他

なし

報 告

1. 役員会（第379～380回）報告について

学長から、前回の本会議以降に開催した役員会での主な審議内容について報告があった。

2. 学長・副学長会議（第252～254回）報告について

学長から、前回の本会議以降に開催した学長・副学長会議での主な審議内容について報告があった。

3. 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

学長から、平成24年11月7日付けで、国立大学法人評価委員会委員長から、平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果の通知があり、資料4-1～4-6に基づき、その概要について報告があった。

4. その他

・学務部長から、配付チラシに基づき、発達障がい学生への修学支援に関する学習会開催について、出席案内があった。

・井上人文社会科学部長から、人社52大教室でのホルムアルデヒド発生に対する対策について要望が出され、総務企画部長から内容を確認して対応したい旨回答があった。